

愛知医科大学病院を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を提供することが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	悪液質におけるオピオイドの副作用発現状況
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原 祥裕
担当科等	薬剤部
研究責任者	客員教授 築山郁人
情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	医療用の麻薬性鎮痛薬の副作用の発現が、炎症を伴う代謝障害によってどのように異なるかを調査することを目的としています。
対象となる患者さん	2013年12月1日から2019年12月31日の期間に、当院で医療用麻薬（オキシコンチン [®] やナルサス [®] 、フェントス [®] 、トラマール [®] 、タペンタ [®] など）を処方されたがん患者さん
研究の方法	医療用麻薬による副作用を診療録(電子カルテ)より後方視的に調査します。血清アルブミン値と炎症指標を用いて、炎症を伴う代謝障害における副作用の発現状況を調査します。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2024年3月31日
研究に用いる試料・情報	情報：年齢、性別、身長、体重、体表面積、PS、血清アルブミン値、CRP、Hb、BUN、Scr、AST、ALT、T-Bil、使用した医療用麻薬とその副作用
外部への情報の提供	なし
情報の利用又は提供を希望しない場合	診療情報などの本研究への利用を拒否される方は、下記問い合わせ先までお申し出ください。
その他	既に実施済みの診療情報から、お名前、住所など個人を特定できる情報を削除して解析を行います。結果を学会や論文などに発表することがありますが、患者さんを特定できる個人情報を公開することはありません。
問い合わせ先	愛知医科大学 担当者：客員教授 築山 郁人 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 12570）